

# 新春白部

発行 党  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市粕壁東  
6-7-12  
電話 748-5159  
FAX 748-5179

## 国保税、繰越金約6億円、基金積立約5億円

### 一人一百万円の引き下げを

8月27日、大野とし子議員は、「令和3年度国民健康保険特別会計決算認定」について質疑を行いました。

#### 均等割額は、2方式の26自治体の中で第一位

国民健康保険税について、一人当たりの保険税額は、9万1111円、県内平均は9万2564円で、県内順位は40市中20位でした。この3年間保険税率を据え置いた事が一定の改善につながりました。しかし、均等割において、40歳以上5万5800円、40

歳未満4万4100円は、春日部市と同じように、所得割と均等割の2方式を取り入れている自治体の中で一番高いことがわかりました。

加入者の平均所得は、約100万円で、滞納世帯は、所得100万円未満の世帯で約85%を占めています。所得の低い世帯に国保税が重くのかかっています。

#### 繰越金、基金を使い、

#### 一人一百万円の引き下げ

繰越金は約6億円で基金の年度末残高は約5億円です。

大野議員は、「一般会計からの繰り入れがなくても、国保財政は安定してきている。繰越金と基金を合わせ約11億円あり、加入者は5万1076人なのだから一人1万円の引き下げは可能と考えるがどうか」と質しました。

健康保険部長は、「加入者の減少や医療の高度化などを考慮し持続可能な国保財政とするために、国保税の引き下げは考えていない。」と答弁。

#### 県内一高い子ども均等割の免除を

大野議員は、「収入400万円、40歳代の夫婦と子ども二人の世帯の国保税が4万8000円と収入の1割を越えるのは、こどもの均等割が高いことも原因していると思う。0歳から18歳までの国保加入者は、3788人で免除に必

要な財源は約1億7000万円です。令和4年度からは国が未就学児の半額補助を行っています(令和4年度対象者1161人、予算約1900万円)。こどもの均等割の全額免除は十分できると考えます。子育て支援として取り組むべき。」と質しました。

健康保険部長は、「7割、5割、2割の法定軽減があり国からの支援も始まりましたが、一層の拡充のために、全市長会を通し国に求めたい。」と答弁しました。

市の国保財政は安定してきました。運動を通し市民の切実な声を届け、こどもの均等割の免除を含めた国保税の引き下げを求めていきたいと思います。人間ドッグ補助を行っていないのは、春日部市を含め、県内4自治体です。早期発見、早期治療のために、人間ドッグ補助を復活させましょう。

# 病院事業会計決算質疑

## 「命の砦」機能果たす

8月30日、9月定例市議会  
で今尾やすのり議員は、令和  
3年度病院事業会計決算認定  
について本会議質疑をおこな  
いました。

### 入院・外来ともに 増え約10億円利益

令和3年度は、新型コロナ  
感染症病床の更なる拡張など  
の対策を講じ、新型コロナウイルス  
感染症患者を積極的に  
受け入れながらも、入院や手  
術が必要な患者を一人でも多  
く受け入れる努力を続け、市  
民の健康と命を守る拠点とし  
ての役割を担ってきました。  
その結果、入院が92,4  
83人(一日平均253・4  
人)、外来が171,725  
人(診療日あたり一日平均7  
09・6人)となりました。

入院抑制の時期もあり、入  
院患者は前年比で下がりました  
が、抗がん剤治療など高額  
医療で収入増となり、外来で  
はコロナ下での受診控えも徐々  
に解消したこと、積極的に受  
け入れたこともあり、約10億  
5千万円の純利益となりました。

救急の受け入れ率は、令和  
2年度2472件で受け入れ  
率52・2%、令和3年度は3  
041件で受け入れ率は50・  
6%でした。

### コロナから 命を守る取り組み

令和3年度は発熱者・帰国  
者接触者外来数も前年度より  
も増加し(下表参照)、入院  
患者数も上回りました。  
また、市立医療センターの

産科は、新型コロナウイルス  
に感染した妊婦も受け入れ、  
令和2年度は2件でしたが、  
令和3年度は14件を受け入れ、  
入院中出産も7件ありました。  
産科・小児科・内科の医師  
が対応し、妊婦患者の命を守っ  
ています。

現在も第7波の感染爆発と  
なっており、コロナ病床26床  
を上回る時期もあつたよう  
ですが、現在は20人前後で推移  
をしています。発熱外来も1  
00人を超える日もあります  
が、内科医だけでなく外科医  
の応援も入り対応しています。  
医師・看護師をはじめ職員

体制も10人増やし、コロナ以  
外の地域医療にも対応を強め  
てきました。

### 全ての職員が一丸と なり健康と命を守る

病院事業管理者は、「市立  
医療センターの役割は、市民  
の健康と命を守ること。医師・  
看護師をはじめ職員一丸となつ  
て頑張ってきた。地域連携を  
進めつつ、医療センターの役  
割である、がん拠点・小児周  
産期・救急対応の充実に、今  
後も全力で取り組んでいき  
たい」と答えました。

令和2年度と3年度の主なデータ

	2年度	3年度
発熱者外来	2441人	3160人
帰国者接触者 外来	840人	911人
新型コロナ 入院患者数	220人	345人
手術件数	2614件	2712件
分娩件数	350件	343件
GCU・NICU 病床利用率	61・0%	55・2%
紹介率 逆紹介率	78・4% 35・8%	78・7% 35・2%

**休日当番医** 市立医療センターTEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談#7119  
9月11日(日) 埼玉東部診療所(内科系) 大畑321 宮前ビル1階 TEL720-8715 岩本小児科医院(小児科系) 谷  
原3-12-1 TEL795-8796 おおつ整形外科(外科系) 中央2-17-10昭和ビル3階 TEL797-5802  
9月18日(日) 春日部在宅診療所ウエルネス(小児科系) 内牧3701-1エミナース春日部1階 TEL792-0772  
つちだクリニック(内科系) 一ノ割1726 TEL733-2900 小笠原医院(外科系) 新宿新田319-2 TEL746-0088